

西国巡礼慈悲の道

西国第三十番 竹生島

宝蔵寺

小さな幸せの積み重ね

管主 峰 覺雄

当山では、『竹生島宝月会』という巡拝の会を作つて札所参拝を続けております。

さて、あるお寺でこんな事が。ご本堂内が大変に混み合っており、先にお勤めをしているグループが終了されるのを待つて、場所を換わつて頂き、私達もご本尊様にお経をお唱えしました。お経の最後のところが終わるや否や、私達の次に来ていた団体の中の60代位

うと、とても観音様が気の毒になつて：」と言われるのでした。

また、こんな事もありました。その日は、雪が舞う生憎の天気、目的地のお寺に到着の頃には、霰がザーザーと降っていました。此処のご本堂はあまり大きい方ではなく、外での読経も覚悟していましたが、お寺の方が雪の中を駆け付けて下さり、扉を開け中の机などを動かして、私たちが堂内に入れるようにして下さいました。その時、先程とは別の参加者が私に「後ろに数人の方が来ているので、もう少し詰め合つて中に入つてもらつて、一緒にお勤めしたらどうでしょうか。」と声をかけてくれました。天気のことやお寺の方のお心にも甘えて、そう

させて頂いたのですが、その時参加者の皆の心に暖かい気持ち広がっていく様な感じがしたものでした。

人は日々様々な人と関わり合つて生きていきます。人に助けて頂いて、人の手助けをさせて頂いて。感謝の心と、奉仕の喜びを大切にしなければならぬのです。老若男女を問わず「自分さえ良ければ：」という現代風潮、これが如何に不幸な事かということをお気が付かなければなりません。人間は一つ欲望が満たされても、更に更にとその欲はエスカレートし、決して満足を得られないのです。日々の触れ合いの中に在る小さな感動の積み重ねこそ、人としての本当の幸せを感じる事が出来るのです。

西国第二十番

竹生島

ほうごんじ
宝厳寺

真言宗豊山派

御本尊／千手千眼観世音菩薩 開基／行基菩薩

つきもひも なみまにうかぶ ちくぶじま

ふねにたからを つむこちして



観音風光

◆『瑞祥水』のおすすめ

竹生島は、昭和六十二年頃より川鵜の異常繁殖が起こり、木々は枯れ、山崖は崩れ、湧水も枯れ果て、飲料水の確保もままならない事態となっております。そんな折の辯才天さま、観音さまの両ご本尊さまの夢枕のお告げの声に従って、当山では井戸『瑞祥水』をお掘りいたしました。湖中の小島での困難な工事でございますでしたが、深さ二三〇メートル（湖底下約一四〇メートル）より御託宣どおり、平成十四年十一月十五日清浄水が出たのであります。

ここにご参拝の諸聖皆さまのご健康をお祈り致し、この御霊泉の水を皆さまにもお分けいたしたく存じます。

主な年中行事

一月一日～四日 修正会

二月二日～四日 星供養祭（節分会）

七月最終日曜日 豊穰祈願祭（佛飼会）

八月一日 びわ湖二二感謝祭

八月十五日 蓮華会

（竹生島辯才天大法要）

毎月十五日（八月十五日を除く）

辯才天特別祈願日

（商業繁栄・芸能向上祈願）

この日に祈願すると辯才天様の御徳をより多く頼戴けるといわれています。

毎月十八日 観世音回向祈願日

（月牌供養）

〒526-0124 滋賀県長浜市早崎町1664-1

TEL 0749-63-4410 <http://www.chikubushima.jp>

納経時間 午前9時30分～午後4時（観光船就航時間内）

仏教用語一口解説

八正道とは

「苦」を滅し、涅槃に至るための八つの方法のことです。「正見」（正しい見解）・「正思惟」（正しい思考）・「正語」（正しい言葉）・「正業」（正しい行動）・「正命」（正しい生活）・「正精進」（正しい努力）・「正念」（正しい目的意識）・「正定」（正しい心の安定）の八つの行いを勤めて実践することが大切です。この「正しい」とは真理に合った、調和のとれた考えや見方や行動のこと。大きな立場で物事を判断できる人となる事を示す道であります。